

第1学年 国語 観点別学習状況の評価規準

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現力	学びに向かう力・人間性
配分				
具体的評価資料		小テスト・漢字コンテスト・定期考査・書写 書き初め・ワークシート	学習活動における話し合い・発表の様子 ワークシート・作文・レポート ノート・定期考査・ワーク	授業態度・提出物・発言・ワークシート・ノート
領域	単元			
	音読	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手を意識して、速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。 ・情景や心情を表す表現に応じて、音読のしかたを工夫している。 		音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしたり、声を届けようとしたりしている。
	学びをひらく	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・5W1Hに注意して、キーワードとなる言葉を書き留め、番号や記号を用いて整理している。 ・情報の整理のしかたを理解し、情報を比較したり、分類したりしている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使い、集めた情報を観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりして整理している。 ・漢字の組み立てと部首について理解し、漢和辞典を使って調べている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」→場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。 「話すこと・聞くこと」→日常の話題について、情報を整理し、聞き取る内容を考えている。情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモしている。 「書くこと」→目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、説明の文章の構成を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。 進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。 学習課題に沿って、積極的に情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使おうとしている。 集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	新しい視点で	<ul style="list-style-type: none"> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、本文中で比較がどのように使われているかを理解している。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解し、筆者の主張と事例との関係を理解している。 ・筆者の主張と事例との関係を理解している。 ・説得力のある根拠や、意見と根拠の結び付きについて理解している。 ・声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。 ・文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」→「問い」と「答え」から中心的な部分を捉え、筆者の主張を理解している。 「読むこと」→序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。 「話すこと・聞くこと」→聞き手を意識して話題を決め、話の内容を選んで整理している。聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。 進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。 学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。 話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。 ・単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。
	情報社会を生きる	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深めている。グラフや文章の中の情報を関連づけて情報を整理し、引用のしかたや出典の示し方を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」→目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、本やインターネットを活用して情報を集め、整理し、伝えたいことを明らかにして書いている。 「読むこと」→必要な情報に着目して要約し、内容を理解している。 	引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。

	言葉に立ち止まる	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の中の語句の意味を捉えながら、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し、表現を工夫して詩を書いている。 ・文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。 ・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 ・言葉を集め、似た意味の言葉や修飾する言葉を考え、伝えたいことに合う的確な言葉を探している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」→詩に描かれている情景を想像し、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ・「書くこと」→自分の思いが読み手に伝わるように、言葉や表現を工夫して詩を書いている。 ・「読むこと」→各段落の役割を理解し、要旨を捉えている。
	読書生活を豊かに	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書が知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」→文章を読み、理解したことを基に、自分の考えを形成している。
	心の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・戦時中という時代背景や、その中で暮らす人々の生活苦を理解している。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し、様子や動きを何かにとたとえた表現を探し、どのような情景や気持ちをたとえているのか考えている。 ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア) →話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、情報を項目ごとに整理することを理解し、案内文の作成に生かしている。 ・文章の推敲を通して、正確でわかりやすい表現に書き改めている。 ・共通語と方言の役割や特徴について理解している。 ・漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音・訓の読み方を使って短い文を作ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」→描写に着目して、場面の展開や登場人物の相互関係、登場人物の行動や心情の変化を、描写を基に捉えている。 「読むこと」→場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。 「話すこと・聞くこと」→話し手のスピーチに耳を傾け、聞いたことを基に、質問のしかたを工夫して聞き、対話をしながら話を十分に理解しようとしている。共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。 「書くこと」→伝えたい事柄・相手に応じて、必要な情報が明確に伝わるように、項目ごとに整理して案内文を書いている。 「書くこと」→読み手の立場に立って、誤記はないか、表現は適切か、伝える情報が正確にわかりやすく書けているかなどを検討し、文章を整えている。
	筋道を立てて	<ul style="list-style-type: none"> ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解し、筆者がどのような事実を基にどのような仮説を立てたかについて、理解している。 ・原因と結果がどうつながっているか整理し、二つの関係について理解している。 ・比較や分類、関係づけなどについて理解を深め、情報を整理し、自分の考えを裏づける資料やデータを選び、出典の示し方に気をつけながら引用している。 ・「根拠を述べる」「前の人の意見を受けて話す」「自分の意見と比較しながら聞く」「意見を整理する」「話がそれたときは元の話題に戻す」を理解している。 ・意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) →自分の考えをまとめる際に、意見に対する根拠を考えている。 ・詩の言葉がどのように使われているか考えて、朗読をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」→文章の構成や展開をとらえ、筆者の意見と、それを支える根拠との関係を考えている。 「書くこと」→書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して、自分の考えに説得力をもたせるようなレポートの構成を考えている。自分の考えを裏づける資料やデータを選び、アンケートで得られた情報を適切に関連づけて、考察を導き出し、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 「話すこと・聞くこと」→話題や展開を捉えながら話し合うために気をつけることを理解し、課題に沿って発言内容を考えている。 ・「話すこと・聞くこと」→話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結び付けながら考えをまとめている。 ・「読むこと」→繰り返しの表現や繰り返しながら変化している表現などに着目しながら考えている。

	いにしえの心につれる	<ul style="list-style-type: none"> 音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、言葉の調子や間の取り方などを意識して音読している。 小学校から親しんできた古典の作品を思い起こし、古典にはさまざまな種類の作品があることを理解している。 音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。 音読に必要な文語のきまり、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解している。 	<p>「読むこと」→場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。登場人物の関係や思いに着目して読み、現代の自分たちと比べ、古典の世界と現代の人々に共通する部分を考えている。</p> <p>「読むこと」→故事成語を調べ、どんな意味に使われるようになったか説明している。</p> <p>「書くこと」→文章と自分の体験とを重ねて、書く内容の中心が明確になるように文章の展開や構成を考えている。</p>
	価値を見いだす	<ul style="list-style-type: none"> 原因と結果、意見と根拠の関係に着目して、必要な情報を取り出し、整理している。 要約するための情報の整理のしかたを理解し、自分の考えをまとめるときに要約や引用を明確に示している。 書評を書き、助言し合う活動を通して、読書の意義を理解している。 「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」について、理解を深めている。 	<p>「読むこと」→目的に沿って必要な情報を結び付け、要約している。賛成か反対か、立場を明確にして、筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。</p> <p>「書くこと」→立場を明確にして、自分の考えの根拠となる事例を挙げながら、意見をまとめて書いている。</p> <p>「書くこと」→読み手からの助言を踏まえて、自分の書いた書評のよい点や改善点を見つけている。</p>
読書に親しむ		<ul style="list-style-type: none"> 読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 	<p>「読むこと」→筆者のものの見方や考え方が表れている部分に線を引き、考えたことをグループで発表し合う活動を通して、自分の理解を確かなものにしている。</p>
	自分を見つめる	<ul style="list-style-type: none"> 場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。 「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深めている。 語感を磨き語彙を豊かにし、詩の中で心情や情景がどのように表現されているかを理解している。 体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉を適切に選んで使っている。 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながら発表をしている。 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、要点をわかりやすくフリップにまとめている。 詩に用いられている表現の技法を理解し使っている。 	<p>「読むこと」→文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり、具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめたりしている。登場人物の考え方や感じ方について、自分の考えをもっている。</p> <p>「書くこと」→書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。別の人物の視点から、その人物の心情や行動が明確になるように構成や展開を工夫して書いている。</p> <p>「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、筆者の思いを捉えている。</p> <p>「書くこと」→読み手に状況がイメージできるように、書く内容の中心が伝わるように、構成を工夫している。</p> <p>「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるよう、書きだしや結び、出来事を、言葉を吟味し、描写を工夫して書いている。</p> <p>「話すこと・聞くこと」→聞き手や場に応じて、発表の言葉や表現を変えるなどの工夫をしている。</p> <p>「書くこと」→目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、情報を集め整理し、内容が伝わる端的な言葉をフリップに書いている。</p> <p>「読むこと」→詩の解釈を通して理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。</p>

第1学年 数学 評価規準

		評価規準		
		知識・技能	思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度
代 数 分 野	1章	○自然数、素数の性質を理解している。	○素因数分解と約数の関係をとらえることができる。	○素因数分解のよさを理解している。
	2章	○自然数を素因数分解できる。	○最大公約数や最小公倍数を素数の積でとらえなおすことができる。	○素因数分解を利用して、最大公約数を求めようとしている。
	3章	○正の数、負の数の性質を理解している。	○正の数と負の数がどのように活用されているかを考察することができる。	○正の数や負の数の大小関係を数直線の位置と関連付けて考えようとしている。
	4章	○正の数、負の数の四則演算ができる。 ○文字式の表し方を理解している。 ○文字式の計算ができる。 ○等式の性質を理解している。 ○1次方程式を解くことができる。	○文字式の表し方の合理性を理解することができる。 ○数量の関係を方程式に表し、それを解くことができる。	○文字式の必要性を理解しようとしている。 ○方程式を等式の性質を使って解こうとしている。 ○方程式の解法を比較し、それぞれの良さを理解しようとしている。
関 数 分 野	5章	○関数の意味を理解している。	○2つの値の関係を文字式で表すことができる。	○関数の式から比例か反比例かを判断しようとしている。
		○比例、反比例の性質を理解している。 ○座標の意味を理解している。 ○座標から点の位置を決定することができる。 ○比例、反比例のグラフを描くことができる。	○2つの値の関係が比例か反比例であるかを判断することができる。 ○比例、反比例の式、グラフの特徴を整理することができる。	○比例、反比例を用いて具体的な事象をとらえようとしている。
図 形 分 野	6章	○平面図形の分類ができる。	○基本的な作図をもとに、条件にあった作図の方法を判断することができる。	○垂直二等分線、角の二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を考えようとしている。
	7章	○空間図形の分類ができる。 ○直定規とコンパスを用いて作図ができる。 ○おうぎ形の面積と弧の長さを求めることができる。 ○見取り図、投影図、回転体が描ける。 ○様々な空間図形の体積と表面積を求めることができる。	○弧の長さや中心角が比例関係にあることを理解している。 ○展開図から組み立てられる立体を考察し表現することができる。	○おうぎ形の弧の長さや面積の求め方について考えようとしている。 ○空間図形を見取り図、展開図、投影図を使って表したり、読みとったりしようとしている。
確 率 ・ 統 計 分 野	8章	○データを度数分布表、ヒストグラム、度数折れ線などに整理することができる。 ○ヒストグラムや代表値、相対度数などを使って、問題を解決する方法を理解している。	○累積度数、累積相対度数をもとにして、データの分布の傾向を読みとり表現することができる。 ○目的に応じたデータを収集する方法や整理する方法について考察し表現することができる。	○ヒストグラム、範囲、相対度数、累積度数などの必要性和意味を考えようとしている。 ○ヒストグラムや相対度数などを使った問題解決の過程をふり返って検討しようとしたり、多面的にとらえ考えようとしたりしている。

【聞くこと】

目標		
<ul style="list-style-type: none"> ●簡単な商品説明や天気予報などを聞いて、自分が必要な情報を聞き取ることができる。[Take Action! Listen 1, 6 (4)] ●自分の興味のある事柄についての簡単な説明（映画の予告編など）を聞いて、その大まかな内容を聞き取ることができる。[Take Action! Listen 3] ●短く簡単なアナウンスやインタビューを聞いて、重要な情報を聞き取ることができる。[Take Action! Listen 2, 5] 		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識]1年生で学ぶ言語材料のきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能]1年生で学ぶ言語材料を活用して、日常的な話題について（はっきりと）話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な商品説明や天気予報などを聞いて、必要な情報を聞き取っている。 ・自分の興味のある事柄についての簡単な説明（映画の予告編など）を聞いて、その大まかな内容を聞き取っている。 ・短く簡単なアナウンスやインタビューを聞いて、重要な情報を聞き取っている。 	<p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な商品説明や天気予報などを聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。 ・自分の興味のある事柄についての簡単な説明（映画の予告編など）を聞いて、その大まかな内容を聞き取ろうとしている。 ・短く簡単なアナウンスやインタビューを聞いて、重要な情報を聞き取ろうとしている。

【読むこと】

目標		
<ul style="list-style-type: none"> ●チラシや観光案内などを読んで、自分が必要な情報を読み取ることができる。[Reading for Information 1-2] ●簡単な記事や自分あてのメールを読んで、その大まかな内容を読み取ることができる。[USE Read L4-5] ●写真などをたよりに短い物語を読んで、そのあらすじをつかむことができる。[USE Read L6-7, Reading for Fun] ●簡単な英語で書かれたパンフレットを読んで、その重要な情報を読み取ることができる。[USE Read L3, L8] 		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識]1年生で学ぶ言語材料のきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能]1年生で学ぶ言語材料を活用して、日常的な話題について書かれた文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシや観光案内などを読んで、自分が必要な情報を読み取っている。 ・簡単な記事や自分あてのメールを読んで、その大まかな内容を読み取っている。 ・写真などをたよりに短い物語を読んで、そのあらすじをつかんでいる。 ・簡単な英語で書かれたパンフレットを読んで、その重要な情報を読み取っている。 	<p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシや観光案内などを読んで、自分が必要な情報を読み取ろうとしている。 ・簡単な記事や自分あてのメールを読んで、その大まかな内容を読み取ろうとしている。 ・写真などをたよりに短い物語を読んで、そのあらすじをつかもうとしている。 ・簡単な英語で書かれたパンフレットを読んで、その重要な情報を読み取ろうとしている。

【話すこと（やり取り）】

目標		
<ul style="list-style-type: none"> ●自分の持ち物や好きなことについて即興で伝え合うことができる。[Take Action! Talk 1, 5-6 (2)] ●準備をした上で、メモを見ながら、簡単なやり取りをすることができる。[Take Action! Talk 4 (3) / (Project 3)] ●社会的な話題について、読んだ英文の内容について、考えたことや感じたことを伝え合うことができる。[(USE Read L8)] 		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識]1年生で学ぶ言語材料のきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 日常的な話題について、1年生で学ぶ言語材料などを用いて、事実や自分の考えなどを、(即興で) 伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の持ち物や好きなことについて即興で伝え合っている。 ・準備をした上で、メモを見ながら、簡単なやり取りをしている。 	<p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の持ち物や好きなことについて即興で伝え合おうとしている。 ・準備をした上で、メモを見ながら、簡単なやり取りをしようとしている。

【話すこと（発表）】

目標		
<ul style="list-style-type: none"> ●身近な人物について、即興で簡単な紹介ができる。[USE Speak L4] ●自分の興味のある事柄(好きな偉人や理想のロボットなど)について、準備した上で発表することができる。[USE Speak L7 / Project 1] 		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識]1年生で学ぶ言語材料のきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 日常的な話題について、1年生で学ぶ言語材料などを用いて、事実や自分の考えなどを、(即興で) 話す技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な人物について、即興で簡単な紹介している。 ・自分の興味のある事柄(好きな偉人や理想のロボットなど)について、準備した上で発表している。 	<p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な人物について、即興で簡単な紹介しようとしている。 ・自分の興味のある事柄(好きな偉人や理想のロボットなど)について、準備した上で発表しようとしている。

【書くこと】

目標		
<ul style="list-style-type: none"> ●自分を紹介する短い文章を書くことができる。[USE Write L4] ●学校行事や町について、短く簡単な記事や紹介文を書くことができる。[USE Write L5 (L6, L8) / Project 2] ●読んだ英文の内容について、考えたことや感じたこと、疑問に思ったことを書くことができる。[(USE Read L4-7)] 		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識]1年生で学ぶ言語材料のきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 日常的な話題について、1年生で学ぶ言語材料などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を紹介する短い文章を書いている。 ・学校行事や町について、短く簡単な記事や紹介文を書いている。 	<p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を紹介する短い文章を書こうとしている。 ・学校行事や町について、短く簡単な記事や紹介文を書こうとしている。

令和6年度		台東区立浅草中学校		
第1学年 社会科		観点別学習状況の評価規準		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
配分				
具体的評価資料	ワークシート、小テスト、定期考査	ワークシート、小テスト、定期考査	ワークシート、小テスト	
領域	単元			
地理	世界の姿・日本の姿	<p>○緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。</p> <p>○我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。</p>	<p>○世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>○日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
	人々の生活と環境	<p>○凶々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。</p> <p>○世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。</p>	<p>○世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
	世界の諸地域	<p>○世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。</p> <p>○アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。</p>	<p>○アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
配分				
歴史	古代までの日本	<p>○世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。</p> <p>○日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷(大和政権)による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。</p> <p>○律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。</p> <p>○仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。</p>	<p>○古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における国家形成、律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
	中世の日本	<p>○鎌倉幕府の成立、元寇(モンゴル帝国の襲来)などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。</p> <p>○南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。</p> <p>○農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。</p>	<p>○武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立とユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

第1学年 理科 観点別学習状況の評価規準

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
配分		34%	33%	33%
具体的評価資料		・テスト ・小テスト ・レポート ・課題 ・活動観察 ・提出物	・テスト ・レポート ・課題 ・提出物	・課題 ・提出物 ・レポート・発言 ・授業態度
領域	単元			
化学	身のまわりの物質	観察や実験などを通して、物質のすがた、水溶液、状態変化に関する事象・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 物質のすがた、水溶液、状態変化に関する事象・現象について観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探求する技能の基礎を身に付けている。	物質のすがた、水溶液、状態変化に関する事象・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	物質のすがた、水溶液、状態変化に関する事象・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探求するとともに、事象を日常生活とのかかわりでみようとする。
生物	植物の世界	観察や実験などを通して、植物・動物の仲間に関する事象・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 生物の観察、植物・動物の仲間に関する事象・現象についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探求する技能の基礎を身に付けている。	生物の観察、植物・動物の仲間に関する事象・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	生物の観察、植物・動物の仲間に関する事象・現象に進んでかかわり、それを科学的に探求するとともに、生命を尊重し、自然環境の保全を寄与しようとする。
物理	身のまわりの現象	観察や実験などを通して、光と音、力と2力のつり合いに関する事象・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 光と音、力と2力のつり合いに関する事象・現象について観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探求する技能の基礎を身に付けている。	光と音、力と2力のつり合いに関する事象・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	光と音、力と2力のつり合いに関する事象・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探求するとともに、事象を日常生活とのかかわりでみようとする。
地学	大地の変化	観察やモデル実験などを通して、火山と地震、地層の重なりと過去の様子に関する事象・現象・自然の恵みと火山災害・地震災害についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 火山と地震、地層の重なりと過去の様子に関する事象・現象・自然の恵みと火山災害・地震災害についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探求する技能の基礎を身に付けている。	火山と地震、地層の重なりと過去の様子に関する事象・現象・自然の恵みと火山災害・地震災害の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	火山と地震、地層の重なりと過去の様子に関する事象・現象・自然の恵みと火山災害・地震災害に進んでかかわり、それを科学的に探求するとともに、自然環境の保全を寄与しようとする。

第1学年 音楽科 観点別学習状況の評価規準

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
配分				
具体的 評価資料		授業への取り組み 実技テスト 期末テスト	授業への取り組み 提出物 実技テスト 期末テスト	授業への取り組み態度 提出物 ワークシート 自己評価票 期末テスト
領域	単元			
表現		<ul style="list-style-type: none"> 音程やリズムを正確に表現することができる。 旋律の特徴や歌詞の美しさに関心を持ち、イメージを持って意欲的に歌うことができる。 箏の基本の奏法を身につけ演奏することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 読譜の基礎基本を学び、音楽の用語や記号を理解し、表現として表すことができる。 楽曲を形づくっている要素を知覚し、意図をもった表現を工夫する。 伝統音楽の良さを味わうとともに邦楽器の基本奏法を身につけ音色を生かした表現ができる。 声域や曲想にあった響きのある発声法を身につけ表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽に親しみ、音楽表現に関心を持ち、主体的に取り組むことができる。 クラスの仲間と協力し、合唱を創りあげようとしている。 音楽表現の特徴や曲想に関心を持ち、表現活動をすることに意欲的に取り組むことができる。
鑑賞		<ul style="list-style-type: none"> 作曲家や時代背景について理解を深め、良さや美しさを味わって聴くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な楽曲を鑑賞し、形づくっている音楽的な要素や特徴を知覚し、言葉で表現できる。 楽曲の雰囲気や曲想を感受し、感想として表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な音楽に関心を持ちながら、特徴や曲想などに関心を持ち、意欲的に鑑賞活動に取り組み、楽曲のよさや美しさを味わうことができる。

第1学年 美術 観点別学習状況の評価規準

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
配分				
具体的評価資料		授業への取り組み・姿勢、作業場面での様子、作品、定期考査	授業への取り組み・姿勢、作業場面での様子、ワークシート、作品、定期考査	授業への取り組み・姿勢、作業場面での様子、鑑賞、提出物、定期考査
領域	単元			
鑑賞	デザイン・彫刻・工芸		過去から現代に続く、大きな歴史に思いを馳せ、美術文化や作品を理解し、美術について関心を持ち、自分なりの考えを持って、素直な感想を述べようとする。	表現したり鑑賞する楽しさを感じながら、自分なりに味わいながら、美術に対する興味・関心・意欲を高める。自他の作品に関心を持ち、制作した人々の思いや願いを想像することができ、人間と造形の関わりについての意味を考えることができる。
表現	絵画・彫刻	造形的に美しい形を創造でき、鉛筆の濃淡を効果的に工夫して立体感を表すことができる。対象の持つ形や色や材質の特徴を観察し、鉛筆の濃淡の技法を工夫して、材質感や立体感を表すことができる。	対象の持つ形の特徴を受け止め、視点や構図を工夫して、画面に取り入れることができる。	対象の持つ色や形からそのおもしろさを発見し新鮮な気持ちを持って表そうとする。見慣れた物にも形や色や材質のおもしろさや特徴があることに興味を持ち、意識的に観察でき粘り強く作品を仕上げようとする
	(デザイン) 色彩	色彩の持つ性質や特性を生かして、思い通りの配色を工夫し、むらなく彩色する。	色彩の持つ性質や特性を生かして、意図にあった配色ができる。	色の持つ性質や特性を知り、色から受ける感動や表現効果に対して興味や関心を持つようとする。
	(デザイン) 平面	構成やレタリングの持つ効果を理解し、しっかりと土台を構築でき、計画的に制作を進めることができる。	伝達するための機能や表現効果などを考え、総合的に構想することができる。	情報伝達のデザインが他者に思いや情報を伝えることをつねに念頭に置き、それを美しく読みやすい文字のデザインに生かそうとする。
	(デザイン) 工芸	用途や機能、使用する者の気持ちを考え、自己の表現したい内容と他者への思いやりの心に基づいて創意工夫して表現する。	材料の持つ性質や特質を理解し、自ら自分らしい発想をすることができる。	下絵づくりから成形、仕上げまで根気よく制作しようとする。生活の中に美術が様々に用いられていることや、美と機能性との関わりを感じ、その働きについて理解する。

第1学年保健体育 観点別学習状況の評価規準

評価の観点		知識	技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
配分		33%		33%	33%
具体的評価資料		・ペーパーテスト ・授業ワークシート	・実技テスト ・授業内観察	・ペーパーテスト ・グループでの話し合い ・授業ワークシート(レポート)	・自ら学ぶ態度 ・自らの学習状況の把握 ・自己調整
領域	単元	<p>【共通項目】</p> <p>1. 保健体育に関心を持ち積極的意欲を持って参加している。 2. 進んで各種目に積極的に取り組もうとしている。 3. 健康に留意し見学をしないで授業に参加している。 4. 常に安全を心がけ、身だしなみなどに配慮している。 5. 各種目を通して公正・協力・責任などの態度を身につける。</p>			
体育	体操	○ラジオ体操・新体カテスト・運動会学年種目 1. 体づくり運動の意義には、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことについて理解している。	1. のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通じて、気付いたり関わり合うことができる。 2. 仲間と動きを合わせたり、対応したりする運動を行うことを通じて、気付いたり関わり合ったりすることができる。	1. 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	<p>【共通項目】</p> <p>1. 学習に積極的に取り組もうとしている。 2. 勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 3. 用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとしている。 4. 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 5. 健康・安全を確保している。</p>
	球技	○バスケットボール・バレーボール・サッカー・ハンドボール・ソフトボール 1. 集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうこと特性があることを理解している。 2. 各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるポイントがあることを理解している。	1. ゴール方向に守備者がいない位置でシュートをすることができる。(ゴール型) 2. サービスでは、ボールの中心付近で捉えることができる。(ネット型) 3. 地面と水平になるようにバットを振り抜くことができる。(ベースボール型)	<p>【共通項目】</p> <p>1. 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えようとしている。 2. 学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 3. 体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。</p>	
	陸上競技	○短距離走・長距離走・走り幅跳び・走り高跳び・リレー 1. 自己の記録に挑戦したり、競争したりする楽しさや喜びを味わうことができる。 2. 各種目において用いられる技術の名称があり、それぞれの技術での動きのポイントを理解している。	1. クラウチングスタートから徐々に上体を起こしていき加速することができる。(短距離走) 2. 自己に適した距離、又は歩数の助走をすることができる。(走り幅跳び) 3. リズミカルな助走から力強い踏み切りに移ることができる。(走り高跳び)		
	水泳	○クロール・平泳ぎ 1. 泳法を身に付け、続けて長く泳いだり、早く泳いだり、競い合ったりする楽しさや喜びを味わうことを理解している。 2. それぞれの種目で主として高まる体力要素が異なることを理解している。	1. 一定のリズムで強いキックを打つことができる。(クロール) 2. 蹴り終わりで長く伸びるキックをすることができる。(平泳ぎ) 3. 水中で両足あるいは左右どちらかの足をプールの壁につけた姿勢から、スタートの合図と同時に顔を水中に沈め、抵抗の少ない流線型の姿勢をとって壁を蹴り泳ぎだすことができる。(スタート)		
	器械運動	○マット運動・跳び箱運動 1. 器械運動には多くの「技」があり、これらの技に挑戦し、その技ができる楽しさや喜びを味わうことを理解している。 2. 運動の基本形態を示す名称と、運動の経過における課題を示す名称によって名づけられていることを理解している。	1. 開始姿勢や終末姿勢、組合せの動きや手の着き方などの条件を変えて回ることができる。(マット) 2. 踏み切りから上体を前方に振り込みながら着手するための動き方、突き放しによって直立体勢に戻して着地するための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかにして跳び越すことができる。(跳び箱)		
	ダンス	○ソーラン節・よちよれ・現代的なリズムのダンス 1. 仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを捉えて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことができる。	1. 小道具を操作する踊りでは、曲調・手足の動きを一致させて、にぎやかな掛け声と歯切れのよい動きで踊ることができる。 2. 軽快なリズムに乗って弾みながら、揺れる、回る、ステップを踏んで手をたく、ストップを入れるなどリズムを捉えて自由に踊ったり、相手の動きに合わせてたりずらしたり、手をつなぐなど相手と対応しながら踊ることができる。		
	武道	○柔道・剣道 1. 対人的な技能を基にした運動で、我が国固有の文化であることを理解している。 2. 技能の習得を通じて、人間形成を図るという伝統的な考え方を理解している。	1. 姿勢と組み方では、相手の動きに応じてやすい自然体で組むことができる。(柔道) 2. 後ろ受け身では、あごを引き、頭をあげ、両方の腕全体で畳を強くたたくことができる。(柔道) 3. 構えでは、相手の動きに応じて自然体で中段に構えることができる。(剣道)		
保健	保健	個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。			健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養おうとしている。

第 1 学年 技術家庭科観点別学習状況の評価規準

評価の観点 配分		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
具体的 評価資料		<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・作業、作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・作業、作品 ・ハンドノート学習ノート(技術) ・課題提出の内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業態度、意欲・忘れ物・発言 ・作業、課題へ取り組む姿勢 ・技・学習ノートの内容 ・課題提出の内容
領域	単元	技術家庭科共通事項 ノートや技家ノート(ハンドブック)等に、必要事項を丁寧にまとめ提出物を提出期限までに出している。 授業の板書事項をきちんとノートに写し、丁寧にまとめる。・忘れ物をしない。 ・意欲を持って学習している。		
	材料と加工の技術	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。 ・木材、金属、プラスチックなどの特性と特性を生かした利用方法について理解している。 ・安全・適切な製作や検査・修正をすることができる技能を身に付けている。 ・材料と加工の技術の概念について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・材料の選択や成形の方法などを構想し、設計を具体化する力を身に付けている。 ・構想に基づいて、製作の計画を立てることができる力を身に付けている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイディアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。 ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。
	情報の技術	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。 ・情報のデジタル化の仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係について理解している。 ・情報通信ネットワークの構成について理解している。 ・情報通信ネットワーク上での情報を利用する仕組みについて理解している。 ・情報の特性を理解して、情報を安全に利用することができる知識を身に付けている。 ・情報セキュリティの基本的な知識について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なシステムの自動化の技術の技術に込められた工夫を読み取り、技術の見方・考え方に気づくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に情報の技術について考えようとしている。 ・情報が釈迦愛に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を身につけようとしている。 ・情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身に付けようとしている。 ・主体的に情報の技術について考えようとしている。
家庭科	家族・家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の生活の自立や家族と家庭生活を工夫していく必要性を理解する。 	3年間の学習の見直しをつける	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を振り返り、生活について関心をもっている。
	(衣生活と自立) 手入の選択と	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服のはたらきを理解している。 ・布の構造や材料の特徴を理解している。 ・表示の意味を理解している。 ・既製服についている表示を理解し、衣服の選択に生かす。 ・衣服の材料に応じた手入れや補修ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服のはたらきをふまえて、目的に応じたそれぞれの場に合ったふさわしい衣服の着方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の選択や手入れについて、関心をもって学習している。
	(衣生活と自立) 生活の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・作業を計画的に実施できる。 ・ミシンや裁縫道具を目的に合わせて、適切に使用することができる。 ・作品製作の手順を理解している。 ・裁縫道具の安全管理や使用方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・布などの材料を用いて、生活を豊かにするための作品を工夫して製作する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服に関心をもち、布などを用いて作品を作ろうとしている。
	消費者	消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。